

なかよく 令和6年度 8月号  
 かしこく  
 150<sup>th</sup> Anniversary 元気よく

令和6年8月30日 文責 黒木 幸博

8月26日(月)2学期がスタートしました。鶴田望乃果さん(2年)、藏座月煌さん(4年)、多良木颯太さん(6年)が代表で力強く2学期の目標を述べました。3人以外の児童も、目を輝かせ、よい表情でした。



また、5年生は始業式翌日から「集団宿泊教室」があり、スタートからアクセル全開で頑張っています!



先生たちの水俣現地学習の様子



胎児性水俣病患者の坂本しのぶさん(中央)

先生たちの市房登山の様子



残念ながら…全員登頂とならず…

求められる人材とは

夏休みにあった校長研修会(講演)である企業の社長さんが言われたことを紹介します。

- ①求める人材(どういう人が採用される?)
  - ・責任感があり向上心がある人
  - ・柔軟性があり対応力がある人
  - ・コミュニケーションがとれる人
 簡単にいうと「やる気があり、問題が起きたときにそのままにせず解決しようとし、周りの人と仲良くやっていける人」です。会社に限らず、学校も含め全てに通用することかなと思います。
- ②人材育成(社員教育で大切にしていること)
  - ・明るい挨拶
  - ・心地よい返事
 会社では、いかに相手を意識した発言、行動ができるか、が大切だそうです。特に挨拶と返事は、相手が嬉しいと感じるような声と姿が大切と言われました。「湯前っ子5つの姿」がんばりましょう!

夏休み、先生たちも学んでいます

- ①8月8日(木)、水俣病について学ぶため、現地研修(患者さんの講話等)を行いました。現地に行かなければ分からないことがあり、多くの学びがありました。
- ②8月9日(金)、地域理解を目的に「市房山」登山にチャレンジしました。登山を通して協力し助け合うことの大切さも学びました。そして、私たちをいつも温かく見守り続ける市房山から「パワー」をもらいました。

台風10号・・・

2学期早々、臨時休業…雨、風ともに激しく、県内、全国の各地で大きな被害を受けたところがありました。お悔やみ申し上げます。

オリンピック観戦記

夏休みにオリンピック、そして先日からはパラリンピックが行われています。各競技でいろいろな名場面や名言がありました。私が印象に残った場面を2つ紹介します。

①卓球競技のシン・ユビン選手(韓国)が3位決定戦で敗れたときのコメントです。「私に勝った相手は、それだけ私より努力してきた。私もそうになりたい。」

相手に敬意を表し、そして前向きな発言。次のロサンジェルスオリンピックでは、強くなったユビン選手の活躍に期待したいです。

②陸上競技の田中希実選手が競技終了後に述べたコメントです。

「苦しい時間が長い大会でしたが、私にとって必要な試練で、理不尽な苦しみではなく、私に与えられるべくして与えられた本当に幸せな時間でした。そういう時間を味わえたことがとてもうれしい。」

出場した2種目、ともに目標達成とはならず悔しい思いをしたはず。しかし、しっかりと現実を受け止め、前に進もうとする姿があります。田中選手は、これからますます強くなっていくでしょう。

校長より

スポーツに限らず、「一流」といわれる人に共通することは、失敗したり自分の思い通りにならなかったりしたときに「言い訳をしない(人のせいにならない)」ことです。心の強さを感じます。

私は「一流」になる必要はありませんが、「言い訳をしない」人になることを目指しています。